

山梨県・南アルプス市・コーセー 立地協定・森林整備協定を締結

株式会社コーセー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林一俊、以下：コーセー）は、山梨県南アルプス市に新たな生産拠点（仮称：南アルプス工場）建設を決定したことを踏まえ、2019年6月7日、コーセー本社にて、山梨県、南アルプス市、コーセーによる立地協定と森林整備協定を締結しました。



このたび締結した立地協定と森林整備協定は、国連の持続可能な開発目標であるSDGsに貢献することを目指し、三者が連携・協力を行うことを目的としています。

今回新たに建設予定の南アルプス工場（仮称）は、「ユネスコエコパーク」として国際的に認定された、清澄な水が育まれる美しく豊かな自然に恵まれた南アルプス山麓に立地します。当社は、この地で新たに化粧品製造を開始するにあたって、自治体や地域の皆さまとの協力・連携にもとづいた、森林保全を初めとする自然との共生や、雇用促進、地域の活性化など、下記5つのSDGsのゴールを目指していきます。

- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 8 働きがいも経済成長も
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう



立地協定においては、当社代表取締役社長・小林一俊、山梨県知事・長崎幸太郎氏、南アルプス市長・金丸一元氏が登壇し、署名を行いました。また、森林整備協定においては、当社代表取締役社長・小林一俊、南アルプス市長・金丸一元氏、中央森林組合代表理事組合長・角田義一氏、やまなし森づくりコミッション会長・山梨県議会議長・大柴邦彦氏が登壇し、署名を行いました。

連携協定の概要

■立地協定による主な連携事項

- ・山梨県地域経済の振興、地域産業の発展への協力
- ・従業員の地域採用、雇用増大への協力
- ・環境保全に向けた取り組みの実施

■森林整備協定による主な連携事項

- ・南アルプス市における森林整備

当社代表取締役社長・小林一俊 挨拶

わたくしどもの新たな工場建設にあわせ、山梨県、南アルプス市とこうして協定を締結できましたことを大変嬉しく思うとともに、多大なるご高配を賜りました長崎知事・金丸市長に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。42年ぶりの国内工場建設にあたり、南アルプス市を選んだ理由は、同市の清澄な「水」でした。この恩恵を受け、また地域の皆様のご協力をいただきながら、山梨から世界の皆様に支持される商品をお届けしていく所存です。本日、立地協定・森林保全協定を締結させていただきましたが、世界的にもSDGsへの取り組みが広まる中、当社としても、「環境保全の取り組み」や「地域とのパートナーシップ」など、企業としての責任・役割を超え、山梨県、南アルプス市の皆様と手を携えながら、いっそうの地域の発展・振興、そして美しい自然環境との共生に努めてまいりたいと思っております。

南アルプス工場(仮称)建設について

当社は、山梨県南アルプス市に新たな生産拠点「南アルプス工場(仮称)」を建設することを決定、2019年4月26日に発表しました。2021年度の稼働を目指し、中長期で安定的に対応できる生産供給と品質管理体制の構築に取り組みます。南アルプス山脈で育まれた清澄な水と美しい自然に囲まれた環境の下、ISO22716・化粧品GMPに準拠した生産環境を持ち、高度な生産技術と万全な品質保証体制の中で生産することで、新たな価値を加え、経済性・機能性に優れた環境配慮型の工場として整備します。配置される生産設備はスキンケア・ヘアケア製品を中心とし、今後の需要拡大へのスピーディな対応が可能となる工場を目指します。

ユネスコエコパーク

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization U.N.E.S.C.O.)が、生態系の保全と持続可能な利活用の調和(自然と人間社会の共生)を目的として、国際的に認定した区域です。ユネスコエコパークは国内の通称で、海外では「BR:Biosphere Reserves(生物圏保存地域)」と呼ばれています。

このニュースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社コーセー コーポレートコミュニケーション室 TEL. 03-3273-1514(直通)